

広野町で2つの総合防災訓練を実施

石油コンビナート総合防災訓練



石油タンク火災消火訓練

10月21日（水）、広野火力発電所構内で、福島県、広野町、双葉地方広域市町村圏組合消防本部主催による平成27年度福島県石油コンビナート防災訓練を実施しました。震度6強の地震とそれに伴う浸水深4メートルの津波襲来を想定し、陸上での石油タンク火災消火訓練や道路障害物除去・救助救急訓練、海上での火災船消火訓練やヘリコプターによる負傷者救助搬送訓練など、石油コンビナートでの災害で想定されるありとあらゆる訓練を行いました。



応急救護所設置訓練



高圧ガス漏えい事故処理・救助救急訓練



防油堤亀裂漏えい対応訓練



火災船消火訓練

相双地方総合防災訓練



災害対策本部設置訓練

11月1日（日）、広野町総合グラウンドなど広野町内一円で、広野町、双葉地方広域市町村圏組合消防本部主催による平成27年度福島県相双地方（広野地区）総合防災訓練を実施しました。この訓練は、東日本大震災以前、相双地方の16市町村で順番に実施し、担当の自治体を主体として行うもので、震災後初めての実施となります。町内で震度6強の大地震が発生し、大津波警報が発令されるという想定で行い、大規模火災訓練、多数傷病者救出救助訓練、総合消防訓練などを繰り広げました。大規模火災訓練では、各町村消防団が消防車のホースをつないで送水しながら、放水を行いました。



自主防災組織訓練



避難所・応急救護所設置訓練



閉会式



多数傷病者救出救助訓練